

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 九度山町

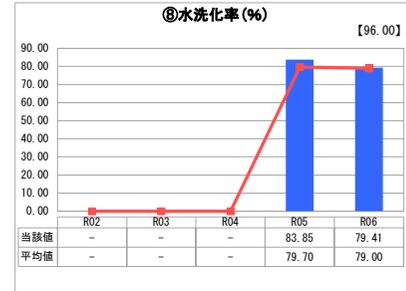
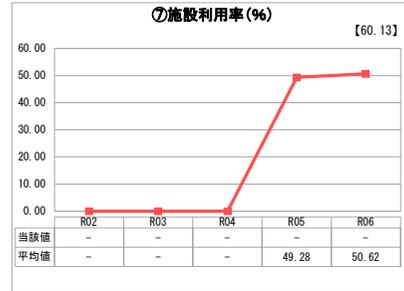
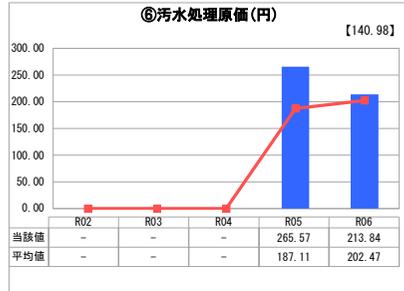
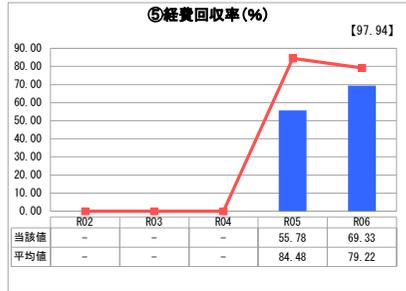
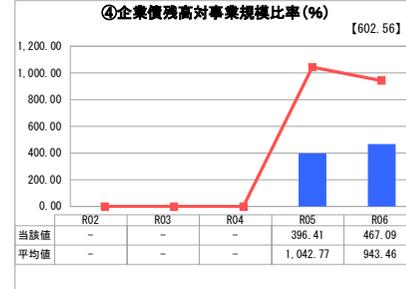
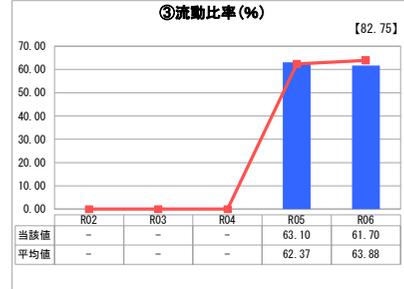
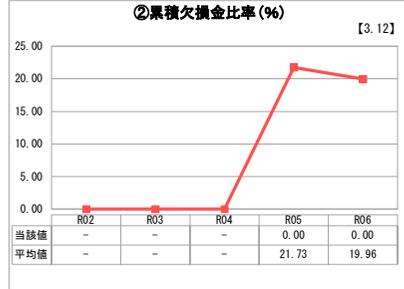
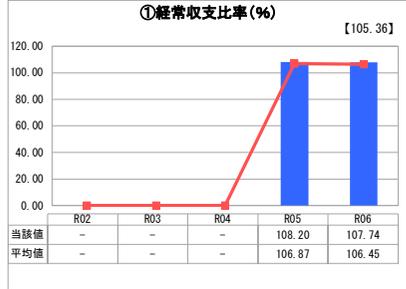
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	77.75	68.51	96.72	3,000

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
3,760	44.15	85.16
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,545	0.91	2,796.70

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

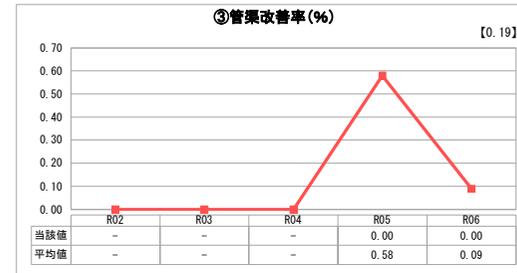
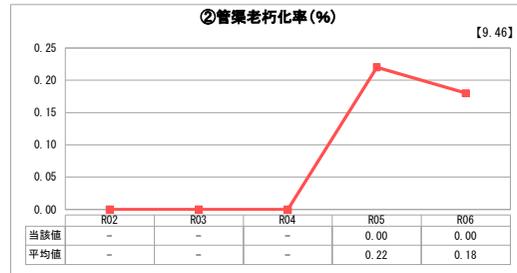
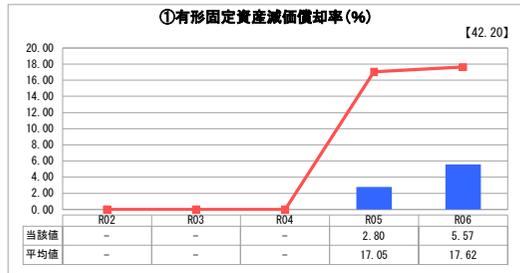
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、③ 流動比率、⑥ 汚水処理原価及び⑧ 水洗化率については、類似団体並みである。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体を大きく下回っているが、ここ数年農業集落排水との接続に伴う広域化工事を順次進めており、今後、当該比率が上昇することが考えられる。
 ⑤ 経費回収率の指標では全国平均、類似団体と比較しても下回っており、料金収入では賅うことができていないため、一般会計からの補助金に依存している状況にあります。
 よって、適切な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が求められています。

2. 老朽化の状況について

平成2年度から污水管渠を整備し、現在のところ管渠も新しいものが多く布設されていることから①有形固定資産減価償却率の指標でも類似団体と比較しても良好であると言える。
 しかしながら、年々数値は悪化しており老朽化が進んでいることは間違いない。
 管渠以外のマンホールポンプや水位計の更新についてはストックマネジメント計画に基づき、計画的に更新していきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後、人口減少及び少子高齢化により、経営状況が厳しくなることが予想されます。
 よって、令和5年度に改訂した経営戦略を元に、下水道使用料の値上げについても検討をしていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。